

法財團 協調會 福岡出張所

○ 日本労働總同盟會長

松岡 駒吉

日本の労働運動も漸く危険視せられなくなつた。約十年前  
國際労働會議代表一行の隨員として祖國最後の舊地で思想問  
題、労働問題に關し意見を述べた時に注意を食つた事がある  
然るに今日ではそうでない、假令労働者と雖も正義に立脚す  
る以上官憲方面にても理解せられ、又資本家に於ても大体是  
認するに至つた。尙一部資本家に頑迷のものあるは遺憾であ  
る。今日日本産業の世界進出に對し諸外國は人道無視の労働  
強化の結果であり所謂不正競争品と叫んで排斥して居るが我  
國の産業の振興は吾々労働者が疎慢されてゐる結果ではない  
低廉なる商品には世の相當の努力が加へられてゐる事を説明  
して國民外交の一端を示して居るが仔細に見ると外國の攻撃  
も滿更嘘ではない。

法財團 協調會 福岡出張所

今日我國は國難を叫んでゐるが戦争のない事は國の爲で吾々  
は平和を望むものだ。何も五、一五事件や戦争の氣運のみが  
國難でない、經濟上の原因に基く國民思想の悪化が最大の國  
難である。吾々は業に政府に對し産業の統制は前中島商相の  
やつたビール會社の統制の如きものでなく産業の中に労働者  
の意志が反映した眞の國家産業統制でなければならぬ。英佛  
獨では國策審議會があり其の機關に労働者代表が加はつて産  
業統制を實行してゐる。眞の國難打開の爲には完全なる國民  
の一致が必要だ、總同盟を中心とする労働組合會議は此の方  
法に依つて國難を打開し、産業協力の精神を以て國防に備へ  
運動を續けて居る

○ 祝 電

海員協會本部

小倉仲仕労働組合